

韓国の第 10 次長期天然ガス需給計画 主要内容（サマリー）

戦略・産業ユニット 国際動向・戦略分析グループ
研究主幹 劉 文鍾

韓国政府・知識経済部は 2010 年 12 月 31 日、2010 年から 2024 年（15 年間）までの第 10 次長期天然ガス需給計画を発表した。本稿においては、同計画書の主要内容を整理するとともに、それらを前期の第 9 次長期需給計画と比較する。計画書には長期天然ガス需要展望、天然ガス輸入計画、供給設備の投資計画などが含まれている。

長期天然ガス需要展望によると、2009 年～2024 年の間に天然ガス需要は年平均 1.8% で増加し、貯蔵設備容量は現在の 712 万 kl から 1,536 万 kl に増加し、全国供給パイプラインの延長は 2,853km から 4,244km まで拡大される。また、季節別料金の差の拡大や、ガス冷房需要の拡大、バイオガス導入等を通して需給管理機能を強化する内容を含んでいる点が従来にない注目点である。